



4月12日(水曜日)午後6時30分からD・201教室にて、バリアフリー委員会(以下BF委員会)の説明会がありました。説明会には60名近くの学生に参加していただき、説明会を終わることができました。説明会では、BF委員会の各部の紹介や、これからテイクにあたっていただく上での説明。また、テイクを実際に体験してみる。

というところで、学生の皆さんにテイクを実際にやってみていただきました。バリアフリー委員会リーダーの、三好正孝の挨拶から始まり、テイク統括部による、テイク(テイクをする人)の心得の説明が、テイク統括部からあり、学生の皆さんに真剣に聞き入っていただき、緊張感と和やかなムードの中、説明会は進んでいきました。

次に、各部の紹介があり、BF委員会における、各部の活動内容などの説明があり、最後に参加していただいた皆さんに、体験テイクをしていただきました。講義のシミュレーションというところで、三分程実際の講義と同じように話しているのを、テイクしていただき、実際にテイクを体験してもらいました。

# バリアフリー 委員会説明会開催



題字 副リゲ - 白江香澄

参加者の皆さんからは、「合宿オリエンテーションで、白江さんから話を聞いてきました。アットホーム

# アルミ缶 ボラン ティア

みなさんはアルミ缶だけで人が救えるボランティアがあることを知っていますか？  
みなさんは日本で今、どれだけの人が車イスを必要としているか知っていますか？  
札幌学院大学バリアフリー委員会では、難聴学生への講義保障の他にも、車イスとの交換を目的とした、アルミ缶収集活動を

行っています。  
現在日本には、車イスを必要としている障がいを持った方が、2200万人以上います。これは、日本の人口の約5人に1人にあたりです。このほかに、事故などで、一時的に車イスを必要としている方もいます。  
車イスは高いものであれば10万円。電動車イスであれば20万円から30万円

円します。  
バリアフリー委員会では、みなさんが飲み終わったアルミ缶を回収・洗浄してから、業者に送っています。800キロ集まれば、車イス1台と交換できます。交換した車イスは、小中学校や高校、病院など、車イスを必要としている施設に送られます。現在、皆さんの協力のおかげで、2000キロのアルミ缶を回収

できました。これもすべて、学生・教職員の皆様のおかげです。ありがとうございます。  
今年も飲み終わったアルミ缶は、バリアフリー委員会のアルミ缶回収ボックスに入れてくださるようお願いいたします。みなさんのご協力をお願いします。



みたい。説明会でやる気が出ました。手話もやってみたいです。」(臨床心理学科1年 齊藤さん)  
参加者のみなさんはテイク体験に積極的に参加していただきました。みなさんありがとうございます。

だけどころかやっていてすごい。テイクについては、難しいですけど、パソコン・ノートテイクに興味があるので、両方できたらいいなあ。」(こども発達学科1年 今井さん)「障がい者の役に立つならやって



できました。これもすべて、学生・教職員の皆様のおかげです。ありがとうございます。

# ノートテイク パソコン要約筆記とは？

## ●ノートテイク

ノートテイクというのは、筆記通訳のことで、重度難聴者の「耳の代わり」をすることです。すなわち話し手のことばやその場の音情報を忠実に聞き取り、遅れずに筆記していく、同時通訳のようなものです。大学でノートテイクも同様の重度難聴学生の耳の代わりとなり、先生の話に沿って、講義内容を筆記により同時通訳します。重度難聴学生にとって、講義をノートテイクしたものを覚えるということは、健聴学生にとつての講義を聞くことと同じです。ノートテイクによって初めて、重度難聴学生も健聴学生と同時に情報を得、授業に参加できるようになります。

## ●パソコン要約筆記

正式名称はパソコン要約筆記ですが、バリアフリー委員会では「パソコン通訳」という呼び方で通常呼んでいます。以下「パソコン通



訳」という記述で紹介します。

パソコン通訳とは、名前の通りパソコンを使って講義内容を伝える講義支援の方法の一つです。パソコン通訳の場合、ノートテイクとの大きな違いは情報量の差です。ノートテイクはどんなにがんばっても「読める字」で書けば150文字くらいが限界です。しかし、パソコン通訳の場合字はパソコンが表示してくれるため、通訳者の入力速度が速ければ速いほど情報量が増えることとなります。パソコン通訳であれば、通訳者の入力速度次第で、ほぼ実



況中継に近い形で、講義保障をすることができず。また、ノートテイクでは、速度が追いつかない、話の速い方の話でも、パソコン通訳であれば、かなりの情報量を保障できます。

両方のテイクに共通することですが、講義中は、先生の話を実況中継するのはもちろん、講義中起こっているいろいろな情報を通訳します。

たとえば、講義中に、学生から質問が出たりするなどはもちろん、誰かの携帯電話が鳴ったり、外で雷が鳴ったりしたことも伝えま

す。理想はすべての音による情報を伝えることですが、やはり、それは難しいことです。しかし、できる限りの情報を保障するために、テイカーは日々技術の向上に励んでいます。

テイカーは日々技術の向上に励んでいます。テイカーの話が速かったり、専門用語が頻出するような、講義であったり。様々な講義があります。テイカーの理想像に近づくために、がんばっています。

どうも、社会情報学部3年の三好正孝と申します。バリアフリー委員会では、学生代表を勤めさせてもらい、仕事としては、周りを見ながら全体の活動をまとめるという感じです。また、この時期は、ガイダンスでのPR。BFの説明会、部室に来てくださった方々の対応や、テイクの



す。しかし、代表といっても

## テイカー

### 募集!

バリアフリー委員会でテイカーを募集しています。テイカーとは、上の記事などを読んでいただければ分かる通り、耳の聞こえない学生のために、情報保障をする人のことを、テイカーと呼んでいます。

テイカーには、パソコンによるテイクと、ノートを使ったテイクがあります。もちろん、いきなりテイクに入ってくださいではなく、練習などをしていただいた上で、情報保障を行っていただけます。

現在バリアフリー委員会では、多数の皆さんに協力していただいで、情報保障を行っています。まだま

だテイカーが足りない状況です。

テイカーに入ってください時間は、強制的に押し付けられるのではなく、テイクをしていただける方の、空き講義や、空き時間にテイクに入ってください形となり、テイクをしていただける方の授業等の負担にはなりません。

現在多数の耳の聞こえない学生が、テイカーを募集しています。皆さんの協力を募集しています。パソコン・ノートテイクに興味のある方は、F館5階507に、バリアフリー委員会の部室があるので、気軽にお越しください。

## 三好正孝

僕が全て仕事をしているわけではありませぬ。僕をサ

ら、そしてBFメンバーの皆さんにいつも助けられております。大変なときもありますが、素晴らしい仲間

# バリアフリー委員会 各部紹介

バリアフリー委員会では、情報保障の他、様々な活動を行っています。もちろん、情報保障が主な活動なのですが、その統括・技術向上を担う、ティーク統括部。このバリアフリー通信を発行する広報部、手話の勉強会を行っている学習部。アルミ缶の収集・リサイクルを行っている、CAR部があります。各部の紹介を各部長にさせていただきますので、活動内容をお見知りおきください。

## ・ 広報部



リー通信の定期的な発行を目指し、新システムの導入や、部の活動体系の見直し、定期的な発行を目指していきます。

現在少ない部員で活動しているのですが、新入生の方々に、多数入っていただいたので、その中から、広報部に入っていただけの方はいないかなど、思い少なくて活動している今日このごろです。

これからも、バリアフリー通信をよろしくお願いたします。

広報部部長の、法学部法律学科二年、本間広大です。バリアフリー委員会広報部では、ご覧いただいている、バリアフリー通信の発行や、札幌学院大学のホームページ内に設置されている、バリアフリー委員会のウェブサイトの更新を行っています。

また、年度末に、バリアフリー委員会の活動を内容を文集にしたものを製作しています。今年度からは、バリアフ

## ・ CAR部



CAR部部長の、経済学部経済学科二年の池田大樹です。

CAR部では、車イスとの交換を目的とした、アルミ缶回収活動を行っています。みんな楽しく、仲良く作業しています。車イスはアルミ缶800キ口と交換でき、交換した車イスは、車イスを必要としている施設に送られます。主な作業は、4つに分かれます。

まず、アルミ缶を回収します。アルミ缶は学内数箇所設置されているアルミ缶専用回収ボックスで回収しています。今年度の回収ボックスは5月上旬頃から設置予定です。現在、CAR部では、200キ口のアルミ缶を回収することができまして、残り、600キ口なので、また800キ口

には、遠いと思われるかもしれませんが、実は昨年だけで、136キ口あつめることができました。今年は年末の合計で、350キ口。つまり、今年度だけで、150キ口集めることを目標としています。その目標を達成するためには、学生・教職員の皆さんのご協力が必要で

次に、回収したアルミ缶を洗浄します。時々、アルミ缶専用回収ボックスに、アルミ缶ではないゴミや、アルミ缶の中に吸殻を入れる人がいます。回収したアルミ缶は、CAR部の部員たちが手作業で洗浄します。絶対に、アルミ缶ではないゴミや、アルミ缶の中に、吸殻を入れないで下さい。その後、洗浄したアルミ缶が乾いてから、つぶしま

す。つぶすときは、みんな楽しくしゃべりながら仲良くやっています。最後に、つぶしたアルミ缶がたまってきたら、ダンボールに詰めて、業者に送ります。アルミ缶貴重な資源です！ぜひ、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

## ・ 学習部



学習部部長の、人文学部人間科学科三年の、平留美です。

学習部の主な活動は、『手話勉強会』と、『障がいなどをテーマにした学生主体の学習会』の開催です。被テイクカーと楽しくスムーズにコミュニケーションを取りたい！という願いから、始まったこの手話勉強会は今年度で4年目の活動となります。年度ごとに参加者も増えていき、レベルやニーズも人それぞれです。

しかし、学習部では、参

加者1人1人に合った学習方法を用意することは難しいと考えました。そこで、今年度の手話勉強会のコンセプトは「初心者も経験者も1から手話を学習し、確実に習得していこう！」というものです。

『障がいをテーマにした学生主体の学習会(仮名)』は今年度からの試みです。去年一度だけ、”障害者自立支援法案”についての学習会を行ったのがきっかけでした。この学習会は2ヶ月に一度くらい、学生が集まってテーマに沿った内容でディスカッションをするという形式で行う予定です。同じ学生達の意見を聞くことによって、良い刺激の場になれば良いなと思っています。

この2つの大きな活動の他にも、ポランテシア情報講演会情報を発信したりなどとして、みなさんのお役に立ちたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。

次ページでは、バリアフリー委員会の活動の中心となっている、ティーク活動の統括をしている、ティーク統括部の紹介です。

### ・車椅子 学生代表



バリアフリー委員会車椅子学生リーダーの社会情報学部3年島田祐亮です。バリアフリー委員会では車椅子学生の大学生活を支援する活動を行っています。具体的には書くのが遅い学生の代わりにノートをとる筆記代行、冬場の通学を介助する通学介助、講義終了後に後片付けを手伝う片付けボランティア、調査実習の移動介助など様々な活動を行っております。また、設備改善として大学側に大学の設備をバリアフリーにしてほしいという要望を出しています。例えば図書館付近に車椅子トイレを造っていただいたり、情報実習室のプリンターの高さを低くしてもらいたいという要望を出しました。

話せるけど耳が聞こえなかったり、言語に障害を持っていたり、自力で車椅子から乗降できずトイレ介助が必要だったり様々な障害学生が在学しています。介助はいろいろと大変ですが、多くは話し合いに話し合いを重ねて実現されました。「障害は個性だ」とまでは言いませんが、障害者は障害者である以前に人だというのが私のモットーです。

確かに身体に不自由がある分介助を受けなければならぬし、自分の身体のことを考えなければいけません。しかし、障害を理由として社会参加ができない、あるいは情報が入りできないということも間違っています。障害があってもサポートや配慮で、人として（もっと言うなら大学生として）当たり前前に社会参加したり、情報を入手したりする権利は保障されなければいけません。だからこそ我々障害学生は障害があるからと妥協してはいけません。自分のことばかり主張するのはいけませんが、もっと積極的にしてほしいことを報告してください。そして障害という影にとらわれずに限りある大学生活を100%エンジョイしましょう!!

### ・交流部



交流部部長の、法学部法律学科二年敦賀佑樹です。交流部は、バリアフリー委員会内での、飲み会やイベントの企画を運営するところです。四月には、新入生歓迎会。夏・冬には、スポーツ交流会などを、行います。参加人数が、多いのでみんなのスケジュールの把握や、運営が大変です。しかし、みんなの楽しんでいる笑顔が、働く意欲になります。

また、スポーツ交流会を、今年は大変で開催するのにお互いに、スケジュールを調整したり、これから会議などが待ち構えているので、それらの準備に向けての活動が現在、非常に大変です。しかし、他の大学と関わるからこそ、成功させたいと思っています。

### ・テイク統括部



テイク統括部の社会情報学部二年青木雄大です。テイク統括部では、主に、テイク講習会また、編成などを行っています。テイクには、ノートテイクとパソコンテイクがあります。ノートテイクは、先生の話をしている内容を、リアルタイムに、伝える方法です。先生の話をしていることすべてを、書き取ることはできないので、要点をまとめて、大事なところだけノートをとりまします。また、先生の話している内容だけではなく、周りの雰囲気や、状況なども伝えます。パソコンテイクとは、文

### ♪編集後記♪

今年の抱負

いよいよ新体制。偉大な先輩に引き継げるようにがんばります。(アジカン) 今年の広報部は一味違います。BF委員会をよりよくご理解いただけるようにガンバリマース!(ふじ) インタビューに協力してくれた皆さんありがとうございました。今年は去年以上に取り組みます。(もり) 新入生のもこみちです。本当の名前は「ともみち」です。これから一生懸命仕事を覚えます!(もこ) 今年の広報部は皆様とちゃんと広報をできるように頑張るのでよろしくお願ひします。(さとう) 今年の抱負は、仕事を一つ一つ丁寧にこなすことです。(ただだ あきの) 交流部と掛け持ちをしますが頑張りたいです。(こま) 今年中に仕事覚えられるよう頑張りマッスル(香港) 少しでも広報部に貢献できるように一杯頑張りまします!(やまだ こうへい) 今年は大変な焼きパーティーに参加するです。(やよい) 今年の目標は、創造的なたこ焼き作りです。(やま)